

国際委員会

国際委員会

委員長：中塚 貴志

委員：清川兼輔（担当理事）、佐藤 兼重、鈴木 茂彦、吉村浩太郎

開催年月日：①平成 28 年 4 月 15 日、②平成 28 年 9 月 16 日、適宜 e-mail 委員会

主な議題：1. アメリカ形成外科学会 (ASPS) との連携について
2. 韓国形成外科学会との MOU 締結に関して
3. ICOPLAST（新国際形成外科学会）の現状について
4. 関連学会（ISAPS、日韓形成外科など）について

活動の概要：1. Plastic Surgery The Meeting 2016 (Los Angeles : 9 月 23～27 日) において、日本が Guest Nation としての特別の待遇を受けたが、本委員会が日形会と ASPS 間の窓口となり、その準備を行った。その結果、日形会主催の Scientific Panel が成功裏に開催されるとともに、推薦した一般口演 10 題、ポスター演題合計 15 題がすべて採択され、発表の機会を得た。さらに、本委員会が推薦した自治医大の吉村浩太郎教授が名誉ある Maliniac Lecturer に指名され、講演を行った。
2. 第 50 回韓国形成外科学会（ソウル）期間中の平成 28 年 11 月 19 日に、日本形成外科学会 (JPRS) と韓国形成外科学会 (KPRS) の間に MOU（覚書）が締結された。署名は、日本側は細川互理事長、韓国側は President : Byung Chae Cho 先生が行った。
3. ICOPLAST は現在、参加国は 62 ヶ国となり、会員数も 2 万人余りになっている。役員を選任、規定の見直しもほぼ終わり、学会の銀行口座の開設（オランダ）も完了し、各参加国から会費の徴収を進めている。なお、本学会はあくまで既存の地域レベルの形成外科学会に合わせて会合（評議員会、総会、理事会）を開催することを基本方針としており、開催地域の平等性の点から数年後にはアジアでの開催も打診されている。ちなみに今年は、6 月 1 日～4 日のオーストラリア形成外科学会において、ICOPLAST 学会が開催される予定である。
4. 学会 HP などを通じて関連国際会議の情報伝達を行っている。

付記：1. 上記 ASPS2016 において発表された日本の Panel の講演や、一般口演・ポスター演題などは、機関誌や雑誌「形成外科」への投稿をお願いしており、会員諸兄にも広く報告される予定である。

なお、ASPS 事務局に、アジア担当の専属事務員（豊川香園さん）が採用され、各種の連絡が大変円滑に行われる体制になっている。

2. 韓国形成外科学会との MOU では、今後 JPRS と KPRS との間で、2 つの形成外科学会の交流・発展のために、相互に協力を行うとの大筋の合意に至った。まず、年次学術集会の際に、相互に会員を招聘し交流を図ることから始め、今後の詳細な計画は両学会の国際委員会同士で話し合うこととなった。

国際委員会

3. ICOPLAST の設立に関する紹介記事が PRS に掲載される予定である。その記事の翻訳文を各国で自国語に訳して会員に配布することが理事会で提案され、PRS の編集長 Rohrich 先生からも承認を得られたので、細川互理事長の了解を得てまず日本語翻訳文を作成した。そして、機関誌に掲載すべく、編集委員長の岡崎先生にお願いし、今後編集委員会で検討して頂く予定になっている。